

特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書

寄贈された物品の使用状況につきまして下記の通り報告いたします。

記

1. 報告団体

| | | |
|---------|-----------------|---------------------------------|
| PTA名 | 静岡県立藤枝特別支援学校PTA | |
| 代表者 | 会長 小村 博昭 | |
| 連絡先 担当者 | 男城 幸枝 | 役職 副校長 |
| 連絡先 | TEL | 054 - 636 - 1891 |
| | E-mail | fujieda-sh@edu.pref.shizuoka.jp |

2. 使用状況

| | |
|---------------------------|--|
| 寄贈物品名 | ソフト跳び箱 |
| 使用学年及び人数 | 小学部1～6年知的学級 117人 |
| 使用頻度 | 各学年 年間15h～20h |
| 使用状況 *具体的に 記載してください | 体育の「器械運動」の題材で主に使用している。 「器械運動」では、跳び箱を跳ぶことが難しい児童に対して、両手をついて体を支える動きやまたがって前に進む動きを練習する。 |
| 物品の使用による 変化や効果 | 従来の木製のものに比べ、カラフルで感触が柔らかなので、児童が抵抗なく触ることができる。手をつく位置が色で示されているので児童にとって分かりやすい。 木製のものに比べて軽く持ち運びがしやすいので、準備や片付けが安易にできる。 |
| 今後の活用の 見通しや課題 | これまでと同様、体育の教材として活用していきたい。 |
| その他 希望や所感など | |

寄贈物品を使用した活動の様子や使用状況がわかる写真を貼付してください。
児童・生徒の感想文や絵などの画像もあればお願いします。

* 写真の説明などもご記入ください。

* メールで送信される場合、写真はメールに直接添付いただければ結構です。



小学部5年体育の授業の様子

台座が色分けされているため、手を置く場所を色で伝えることができる。また、クッション性が良く、児童が安心して跳ぶことができるため、支援がしやすい。

お手数ですが、12月10日(木)迄にご提出をお願いいたします。提出先 info@suzuki-ecfound.com
なお、ご提出いただいた内容や写真は、活動報告書としてまとめ、各学校に配布する予定です。
また、財団に関する資料、ホームページ、広報誌等にも公開させていただきますのでご了承ください。